



自強不息 質実剛健 文武両道

URL : <https://www.koyo-h.wakayama-c.ed.jp/index.html>

## 県高校総体 ~ 今の自分の力を発揮できましたか? ~

1学期中間考査が終わった5月21日、体育館において県高等学校総合体育大会に出場する運動部の選手たちの壮行式が行われました。各クラブのキャプテンから力強い意気込みを聞くことができました。その後、武野教頭から「勝ち負けを意識しないということは難しいけれど、勝ち負けよりも、まずは自分の力を発揮することに集中してほしい。そのためにも、試合までの間、体調管理には十分気を付け、試合当日、会場で思う存分、自分の力を発揮してください」と激励の言葉を出場する生徒の皆さんに伝えました。

運動部で日々活動する生徒の皆さんにとって、「県高校総体」という大会は、数ある大会の中でも、特別な大会であると思います。“憧れの夢舞台”とも言われる“インターハイ（全国高等学校総合体育大会）”の県予選会でもあり、また、「負ければ（高校では）引退」との思いで臨んだ3年生にとっては、高校での部活動の区切りをつける大会であるとも言えます。

今年の夏、フランスのパリで行われるオリンピック競技会が終わると、「〇〇選手、現役引退」というニュースが流れると思います。しかし、その引退した選手たちがその後、そのスポーツに全く関わらないかというところではないことの方が多いと思います。スポーツ番組の解説でテレビに映る人もいれば、ジュニアの指導者になったり、地域の大会に出場したりするなど何らかそのスポーツに関わっている人の方が多いのではないかと思います。3年生にとって、県高校総体がひとつの区切りの大会であったとしても、それは「ゴール」という意味ではなく、あくまでも「通過点」として捉えてほしいと思います。その日まで、どんな気持ちで競技と向き合ってきたか、そして、これから、どういう気持ちで付き合っていくのか。今まで学んだルールや技能に関する知識、身に付けた技能をこれからの人生の中でどう生かしていくのか。更に高いレベルをめざすもよし、自分が身に付けたものを下級生に伝えていくことも、また、その両方に取り組むもよし。それは、自分で判断してもらえたらと思います。また、1・2年生では、県総体に出場した生徒もいれば、出場している選手の応援を行った生徒もいることでしょう。この大会で見つけた自分たちのチームの評価できる点や課題を次の新人大会までの間でどう克服していくのか、より具体的に対策を練って取り組んでもらいたいと思います。



### <近畿大会・全国大会出場クラブ>

#### 【全国大会出場クラブ・選手】

##### ○フェンシング部

男子団体 : 優勝 (初)  
男子フルール : 優勝 横田和馬 (2H) 第2位 近藤哲平 (3E)  
女子エペ : 優勝 坂本輝良々 (2C)

##### ○バドミントン

男子シングルス : 優勝 加藤優弥 (3C)  
男子ダブルス : 第2位 加藤優弥 (3C)、坂東幹太 (3E)

##### ○体操競技

個人総合 : 第3位 藪桜輔 (1A) ※近畿大会も出場

### 【県高校総体と同時期に開催された文化部の活躍】

#### ○放送部

令和6年度全国高等学校総合文化祭近畿大会県予選会兼第71回NHK杯全国高校放送コンテスト和歌山大会  
ラジオドキュメント部門 : 第1位 ラジオドラマ部門 : 第2位  
アナウンス部門 : 第3位 溝浦世結良 (3E) 第6位 岩橋なすな (2F)  
朗読部門 : 第6位 九十九みんと (2G)

#### ○囲碁部

第48回全国高等学校囲碁選手権和歌山県大会  
男子団体 : 第1位 森本昊一郎 (3D)、玉置駿 (3A)、真谷凱 (3C)  
男子個人総合 : 第1位 森本昊一郎 (3D)  
女子個人総合 : 第1位 串上莉音 (3F) 第2位 下平さゆり (1G)

### 【近畿大会出場クラブ】

○陸上競技部※ ○水泳部※ (競泳・水球) ○ハンドボール部 ○山岳部  
※陸上競技部と水泳部は、近畿大会の結果でインターハイの出場が決定します。

